

令和5年度
移動販売に関するニーズ調査
集計報告

令和6年1月
社会福祉法人那珂市社会福祉協議会

1 本調査について

(1) 調査名称

移動販売に関するニーズ調査

(2) 目的

那珂市地域包括支援センターが実施している実態把握調査にあわせて移動販売に関するニーズ調査を実施し、地域性や世帯状況、移動手段などの状況を踏まえた幅広い年齢層の移動販売に関するニーズを把握し、市内の移動販売が行える状況について確認することを目的とする。

(3) 対象

実態把握調査のうち協力してくれたかた447名

(4) 期間

令和5年6月から12月頃

(5) 手法

訪問調査

(6) 調査内容

ア 買い物状況について

- ・買い物状況（自身で買い物をしている、誰かの援助を受けて買い物をしている）
- ・買い物頻度
- ・主な買い物先

イ 移動販売の利用希望について

- ・移動販売の利用希望
- ・どのようなところに来れば、移動販売を利用したいか
- ・その他移動販売に対する意見

移動販売とは

移動販売は常設の小売店舗を設けず、トラック等の車両に商品を積載して、移動しながら商品を販売する無店舗の販売形態である。

2 調査対象について

(1) 調査対象者の地区別内訳

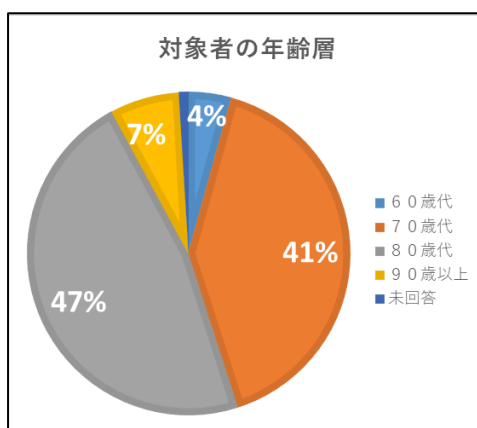
単位：人

地区名	神崎	額田	菅谷	五台	戸多	芳野	木崎	瓜連	計
調査人数	26	37	126	89	35	31	32	71	447

(2) 対象者の平均年齢

単位：歳

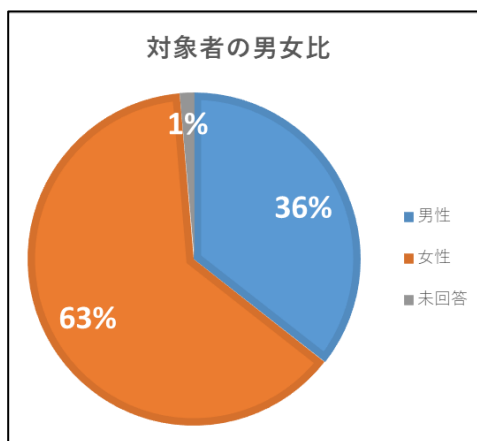
地区名	神崎	額田	菅谷	五台	戸多	芳野	木崎	瓜連	計
平均年齢	82.5	80.0	79.4	80.0	78.7	80.9	81.5	81.4	80.5



【詳細内訳】

□対象者の年齢層（447人）

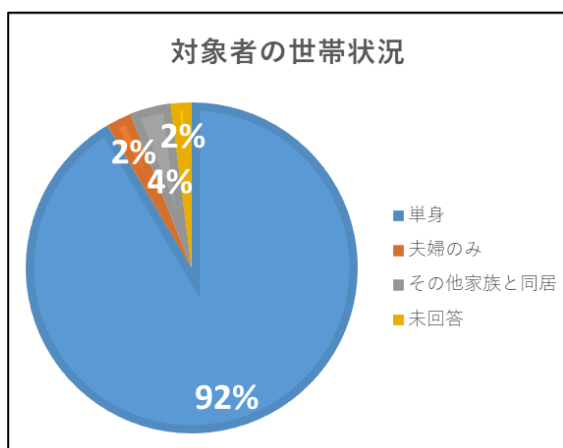
- ・60歳代 20人
- ・70歳代 181人
- ・80歳代 211人
- ・90歳以上 31人
- ・未回答 4人



【詳細内訳】

□対象者の男女比（447人）

- ・男性 160人
- ・女性 281人
- ・未回答 6人



【詳細内訳】

□対象者の世帯状況（447人）

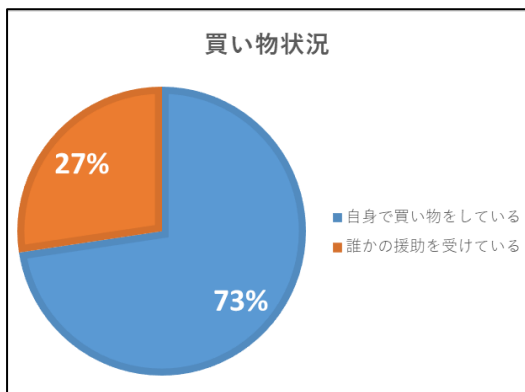
- ・単身 409人
- ・夫婦のみ 11人
- ・その他家族と同居 18人
- ・未回答 9人

3 分析

(1) 買い物状況について

対象者の買い物状況は、「自身で買い物をしている」が7割を超えた。そのなかでも「自身の車」は5割を超え、「バス」や「タクシー」などの公共交通機関を利用しているかたは少なかった。

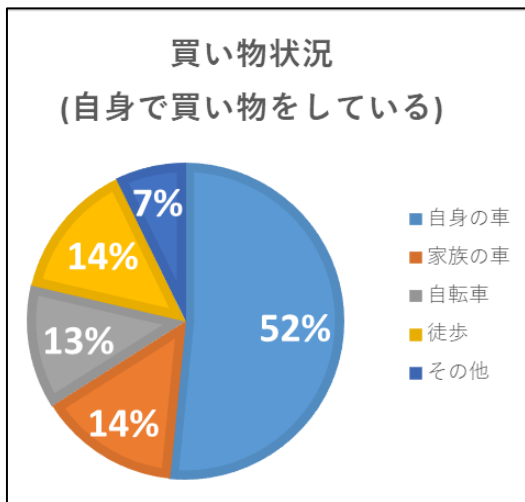
「誰かの援助を受けて買い物をしている」と回答したかたのうち、5割以上が「家族に依頼」、次いで「宅配サービスの利用」となり、「友人・知人に依頼」は少なかった。



【詳細内訳】※複数回答あり

□買い物状況

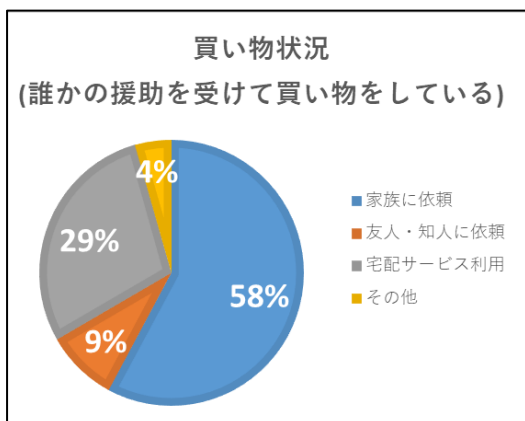
・自身で買い物をしている	422人
・誰かの援助を受けて買い物をしている	159人



【詳細内訳】

□自身で買い物をしている (422人)

・自身の車	209人	・家族の車	58人
・バス	2人	・タクシー	7人
・ひまわりタクシー	7人	・自転車	52人
・徒歩	58人	・その他	29人



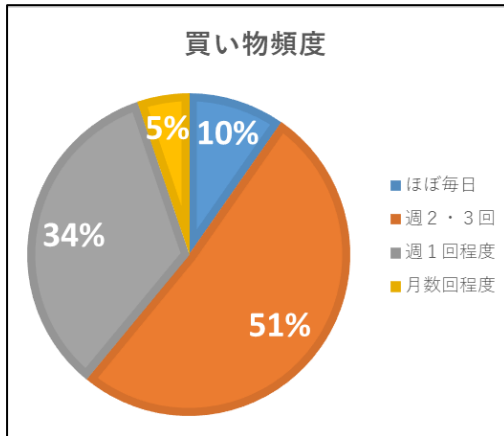
【詳細内訳】

□誰かの援助を受けて買い物をしている (159人)

・家族に依頼	92人	・友人・知人に依頼	14人
・宅配サービス利用	46人	・その他	7人

(2) 買い物の頻度について

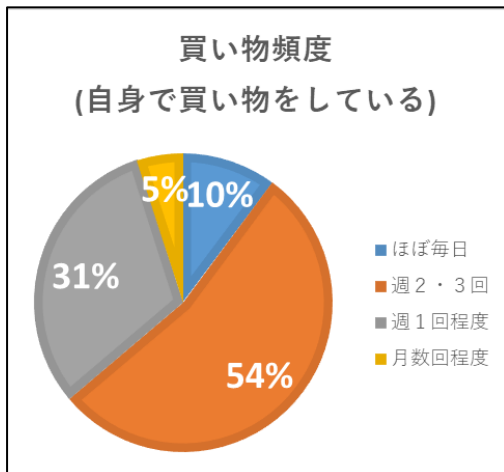
対象者の買い物頻度は「週2・3回」と回答したかたが5割以上で、次いで「週1回程度」が約3割となった。また、「自身で買い物をしている」かたは「週2・3回」が5割を超えるのに対し、「誰かの援助を受けて買い物をしている」かたは4割以下と買い物頻度は減少した。なお、ほぼ毎日買い物をしているかたは女性より男性の割合が多かった。



【詳細内訳】※複数回答あり

□買い物頻度(449人)

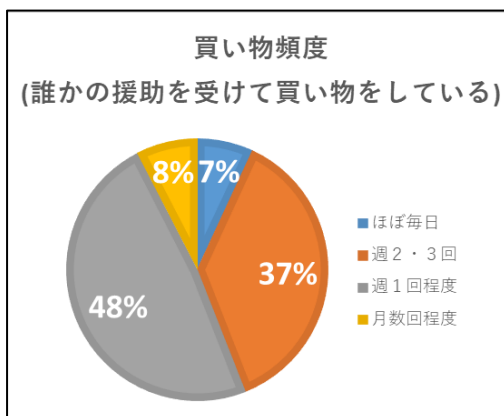
・ほぼ毎日	43人	・週2・3回	230人
・週1回程度	150人	・月数回程度	23人
・その他	3人		



【詳細内訳】

□買い物頻度(自身で買い物をしている)(428人)

・ほぼ毎日	43人	・週2・3回	230人
・週1回程度	132人	・月数回程度	21人
・その他	2人		



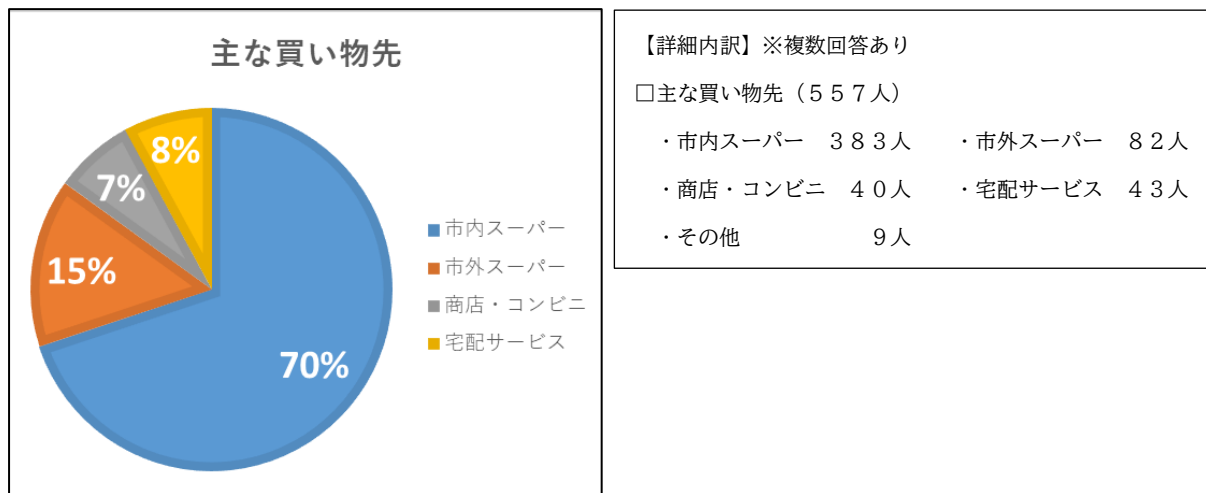
【詳細内訳】

□買い物頻度(誰かの援助を受けて買い物をしている)(160人)

・ほぼ毎日	11人	・週2・3回	59人
・週1回程度	77人	・月数回程度	12人
・その他	1人		

(3) 主な買い物先について

「市内スーパー」、「市外スーパー」と回答したかたが約8割を超え、「商店・コンビニ」「宅配サービス」と回答したかたは1割未満となった。



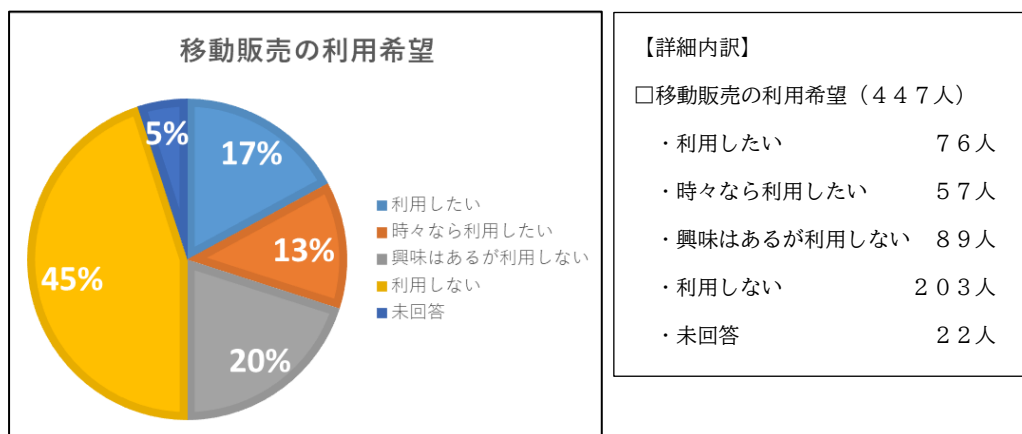
(4) 移動販売の利用希望について

①全体の傾向

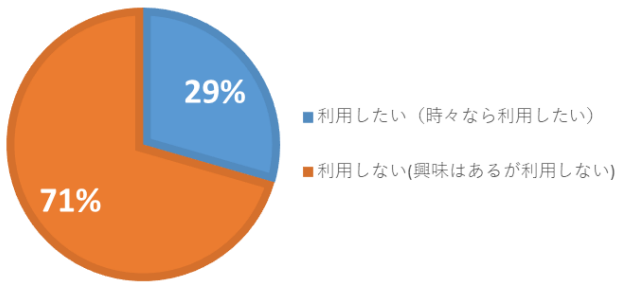
移動販売を「利用したい」、「時々なら利用したい」と回答したのは全体の3割。「興味はあるが利用しない」、「利用しない」は全体の6割を超えた。

最も回答者が多かった「利用しない」の理由として、「今は自分（または家族の援助を受けて）で買い物ができるため、移動販売を利用する必要がない」、「自分で買い物ができるうちは直接店舗に行って買い物がしたい」、「今は車の運転ができるため、免許返納後に移動販売を考えたい」などの意見が挙げられた。また、「興味はあるが利用しない」の理由としては、「車の運転ができるため」が最も多く、他に「加齢により歩行困難であるため」、「購入した商品を自宅まで運べないため」などの意見が挙げられた。

「自身で買い物をしている」と「誰かの援助を受けて買い物をしている」に分類して利用希望を比較すると、「誰かの援助を受けている」の移動販売の利用希望は4割を超えた。



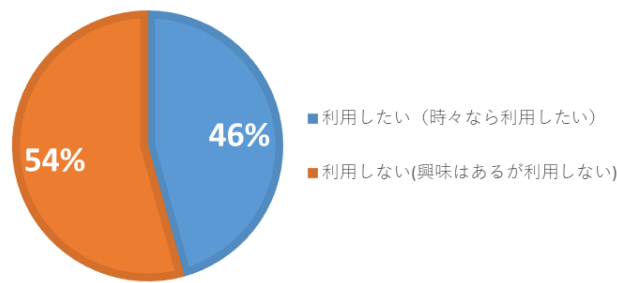
移動販売の利用希望
(自身で買い物をしている)



【詳細内訳】

- 移動販売の利用希望(404人)
- (自身で買い物をしている)
- ・利用したい(時々なら利用したい) 119人
 - ・利用しない(興味はあるが利用しない) 285人

移動販売の利用希望
(誰かの援助を受けて買い物をしている)



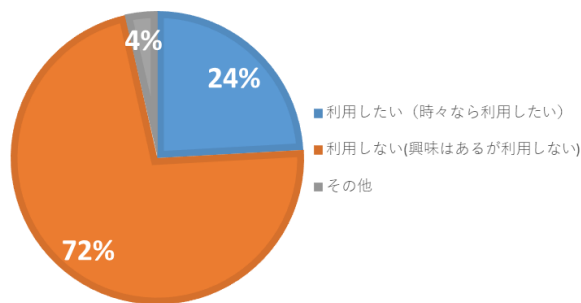
【詳細内訳】

- 移動販売の利用希望(151人)
- (誰かの援助を受けて買い物をしている)
- ・利用したい(時々なら利用したい) 69人
 - ・利用しない(興味はあるが利用しない) 82人

②年齢比と移動手段が車以外の傾向

「60歳代・70歳代」と「80歳以上」で利用販売の希望を比較すると、「60歳代・70歳代」の移動販売の利用希望は約2割に対し、「80歳以上」では3割を超えた。さらに条件を「80歳以上・単身・自家用車なし」に絞ると、4割以上が移動販売を利用したいと考えている状況が見られた。

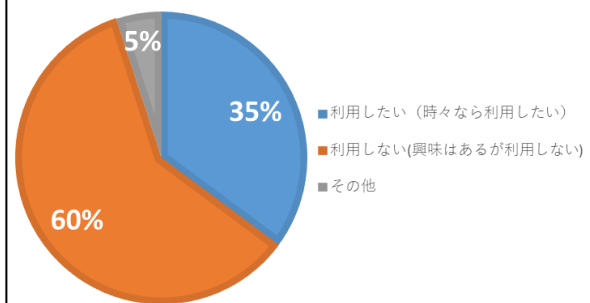
移動販売の利用希望
(60歳代・70歳代)



【詳細内訳】

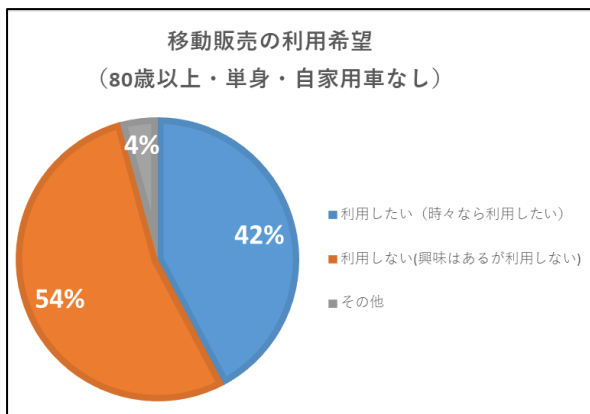
- 移動販売の利用希望(60・70歳代)(201人)
- ・利用したい(時々なら利用したい) 48人
 - ・利用しない(興味はあるが利用しない) 145人
 - ・その他 7人

移動販売の利用希望
(80歳以上)



【詳細内訳】

- 移動販売の利用希望(80歳以上)(242人)
- ・利用したい(時々なら利用したい) 84人
 - ・利用しない(興味はあるが利用しない) 145人
 - ・その他 12人



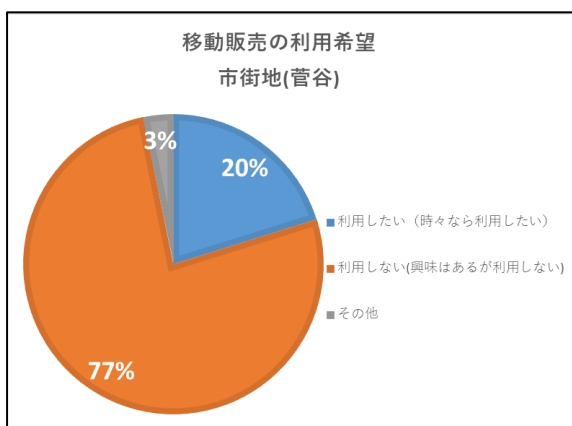
【詳細内訳】

□移動販売の利用希望(142人)
(80歳以上・単身・自家用車なし)

・利用したい(時々なら利用したい)	60人
・利用しない(興味はあるが利用しない)	76人
・その他	6人

③地域による傾向

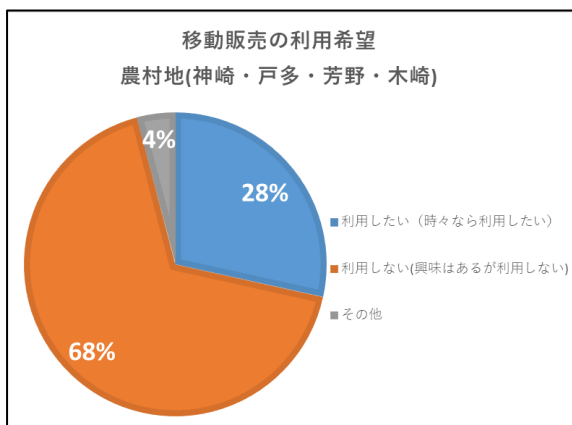
「市街地(菅谷地区)」と「農村地(神崎地区・戸多地区・芳野地区・木崎地区)」で比較した移動販売の利用希望は農村地が約3割となり、市街地よりも移動販売の利用希望は多い。さらに条件を「農村地・80歳以上・単身・女性」に絞ると、約4割が移動販売を利用したいと考えている状況が見られた。



【詳細内訳】

□移動販売の利用希望(市街地(菅谷))(126人)

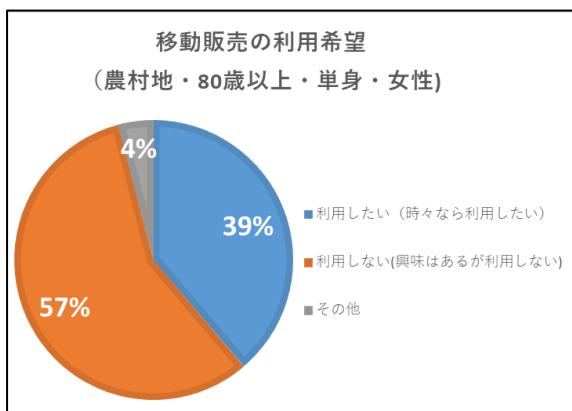
・利用したい(時々なら利用したい)	25人
・利用しない(興味はあるが利用しない)	95人
・その他	4人
・未回答	2人



【詳細内訳】

□移動販売の利用希望(農村地(神崎・戸多・芳野・木崎))(124人)

・利用したい(時々なら利用したい)	35人
・利用しない(興味はあるが利用しない)	84人
・その他	5人



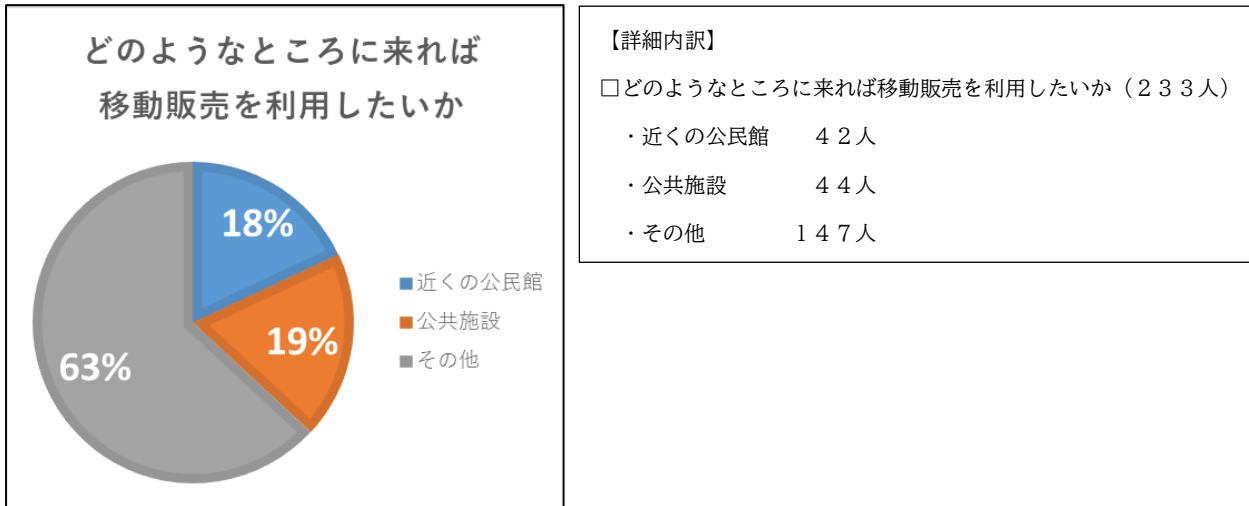
【詳細内訳】

□移動販売の利用希望(農村地・80歳以上・単身・女性)(49人)

・利用したい(時々なら利用したい)	19人
・利用しない(興味はあるが利用しない)	28人
・その他	2人

(5) 移動販売の利用場所の希望について

希望する訪問先については、「近くの公民館」、「公共施設」はともに2割以下となった。「その他」の意見として、「自宅前」が最も多く、他には「自宅付近」、「近所(徒歩5分圏内)」といった意見が挙げられた。



(6) その他移動販売に対する意見について

①移動販売で取り扱ってほしい商品

- ・生鮮食品、酒類、菓子類、惣菜、弁当、日用品など
- ・重量のある商品（瓶・ペットボトルの飲料水、米）

②移動販売の利用に関する意見

- ・定期的に曜日を決めて訪問してほしい
- ・免許返納後に利用を検討したい
- ・移動販売車が来たときに近所の人と交流したい
- ・自分の目で見て商品を購入したい
- ・店舗価格と同等なら利用したい
- ・購入したい商品を注文し、次回の訪問時に届けてほしい

③移動販売に対する不安

- ・店舗価格と比較して割高な印象
- ・長距離の移動ができないため、自宅付近まで販売車が来ないと利用できない
- ・頼みたい商品がないとき断りづらい
- ・実際に利用してみないとイメージがわからない
- ・利用希望はあるが、家族から「援助が受けられるうちは利用しないで」と反対されている

4 本調査からみえてきたこと

(1) 80歳以上の移動販売へのニーズは高い

移動販売の利用希望について、全体の傾向から「興味はあるが利用しない」、「利用しない」との回答が6割を超えた。しかし、買い物状況で「誰かの援助を受けて買い物をしている」と回答したかたの移動販売の利用希望は約5割あり、80歳以上で且つ移動手段がないかたの利用希望は4割を超えた。また、地域による傾向では市街地と比較して農村地のほうが利用希望は高く、条件を「農村地に住んでいる80歳以上の単身女性」に絞ると利用希望は4割を超える結果となった。年齢が上がるにつれ身体的状況の変化や免許返納等により移動手段がなくなることで、移動販売に対するニーズが高くなったことが考えられる。

(2) 援助を受けているかたの移動販売への期待は高い

買い物状況では「誰かの援助を受けて買い物をしている」と回答したかたのうち「宅配サービス利用」が約3割であった。買い物頻度で比較すると「自身で買い物をしている」は「週2・3回」が5割を超えるのに対し、「誰かの援助を受けている」は「週1回程度」「月数回程度」と回答した割合が5割を超え、買い物頻度は減少している状況が把握された。買い物等の外出する機会が減るなかで「直接商品を手に取り購入したい」、「近所の人と交流したい」などの意見もあり、移動販売への期待は高いと考えられる。

(3) 移動販売への期待と不安

移動販売の利用希望で「利用しない」と回答した理由に「家族の援助を受けられるため」が最も多く、次いで「車の運転ができるため」が挙げられた。一方で「免許を返納したら考えたい」といった意見もあり、将来的な利用を見据えた回答もあった。利用場所の希望は「その他」が6割を超え、多くが「自宅前で販売してほしい」であった。理由として身体的に販売場所までの移動及び購入商品の運搬が困難であり、自宅前または自宅付近に販売車が来なければ利用できないとの意見があった。その他に「店舗価格より割高な印象」「頼みたい商品がないとき断りづらい」「利用イメージがわからない」などの意見が挙げられた。

(4) 今後について

本調査を実施し、地域性や世帯状況、移動手段の状況などを踏まえた幅広い年齢層のニーズを把握することができた。今回の調査結果を市内で移動販売を実施しようとする企業等に情報提供し、移動販売の実施に向けた検討を進めていく。